

協働事業報告書

事業の名称	はらっぱ土曜子育て相談室		
団体名・氏名	特定非営利活動法人 はらっぱ	関係課(G)名	保育所事業グループ 保健サービス課
事業費	126,800	市の負担額	100,000 円

事業の目的及び内容	<p>(目的) 当法人では平日の通常保育に加え、地域の子育てを支えるために土曜日を一般開放している。その土曜日に子育て相談室を定期的に設けることにより更に地域の子育てを支えることを目的とする。</p> <p>(内容) 「オープンハラッパ」の日程内に月 1 回、相談室を置き、定期的に相談に応じる。子ども連れての相談が可能なように託児スタッフを配置する。</p>	
	<p>(市民活動団体等の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への広報 ・託児ボランティアの手配 ・参加者のフォローアップ ・開催日程、時間調整 ・保険加入手続 ・身長、体重測定 ・相談者への予約受付 ・会場準備 	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政ニュースへの広報 ・事業終了後の相談結果について提案者とヒアリング ・ヒアリングの結果、行政機関との連携が必要な事例については連絡調整等を行う。 ・相談後に今後の専門的な支援が必要な子どもについて連絡を受ける。(但し保護者了承を得たものに限る。) ・担当保健師から状況に応じて支援を行う。

	市民活動団体等	市 ※
協働事業の成果・効果	<p>保健センター等に案内のチラシを配置してもらえた効果か、必ず 1 人は予約が入った。市との連携が取れるということで、相談に応じるほうも安心感があつた。</p> <p>身長や体重が気軽に量れる体制をとったことにより子どもの成長を確認できたり、計測をすることにより悩みを話すきっかけになった。</p>	<p>(保育所事業G)</p> <p>子育てに関する広報コーナーにチラシを設置していたが、チラシを持ち帰る市民の姿もたびたび見られ、興味をもってもらえているようであった。</p> <p>市内の認可保育所での育児相談事業も参加者が他の事業に比べると少ないので、再検討が必要であるが、今後、検討する際の材料として、今回の取り組みも参考とすることができる。</p> <p>(保健サービス課)</p> <p>閉庁日である土曜日に、育児不安等の相談に応じる機会が出来た。</p> <p>地域の保育所との連携が取れることで、</p>

(様式 10 号)

		未把握の方への対応が可能になったが、実際には連携ケースは、なかった。
課 題	初めての試みであったので、これを続けていくことが課題である。そのための予算や人的配置を工夫していきたい。	(保健サービス課) 今後とも、地域組織等との連携が必要である。

注 1 事業実施が確認できる資料（写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等）を添付してください。

注 2 ※印の箇所は関係課(G)で記入します。

自己評価書 (はらっぱ)

事業の名称	はらっぱ土曜子育て相談室	
団体名・氏名 関係課(G)	特定非営利活動法人はらっぱ 保育所事業グループ 保健サービス課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	1. 非常にあった	主な理由
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	経済的に安心感があった。 広報の力はありがたかった。 相談者に一定の信頼感を持ってもらえた。 必要な相談機関を提供してもらえる。
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>〈評価〉柔軟で垣根の低い相談機関として認知してもらえた。 子どもが遊ぶ様子を見ながら具体的にアドバイスをできるという保育所としての利点を活用できた。</p> <p>〈反省〉</p>	

自己評価書 (保育所事業G)

事業の名称	はらっぱ土曜子育て相談室	
団体名・氏名 関係課(G)	特定非営利活動法人はらっぱ 保育所事業グループ 保健サービス課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で 3, 4 を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	1. 非常にあった	主な理由 認可外保育施設における子育て支援事業につ いては、次世代育成支援行動計画でも検討さ れていることから、今後の子育て支援事業の 方向性としても、実施した効果はあったと思 われる。
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>〈評価〉</p> <p>PR 方法や事業実施内容について、参加者が少しでも多くなるように工夫されていると見受けられる部分があり、今後の認可外保育施設における子育て支援事業のモデル事業としても成功しているのではないかと。</p> <p>〈反省〉</p> <p>育児相談事業は他の施設でも実施しているところは多く、どの施設においても参加者が伸び悩むという現実があるため、今後は育児相談事業そのものについての検討も必要であるように感じている。</p>	

自己評価書 (保健サービス課)

事業の名称	はらっぱ土曜子育て相談室	
団体名・氏名 関係課(G)	特定非営利活動法人はらっぱ 保育所事業グループ 保健サービス課	
自己評価欄 (該当する選択肢に○をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. ほとんどできなかった	
2. 事業実施により 期待した成果 を上げることが できたか	1. 期待どおり	主な理由 (左記で3,4を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	
3. 協働で事業実 施した効果はあ ったか	1. 非常にあった	主な理由
	②. あった 3. あまりなかった 4. ほとんどなかった	毎月、育児不安や幼児への接し方等の相談者 があり、閉庁日での対応ができた。
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	〈評価〉 当課へ連携するほどのケースは無く、身近な保育所で実施されたことにより、気軽に相談することが出来たようである。 〈反省〉	